2022 年度事業報告

1 あおもり NPO プラットフォーム構想の具体化

「あおもり NPO プラットフォーム構想」は、東奥日報社・プランニングネットワーク東北・あおもり NPO サポートセンターが中心となり、県内外の市民活動団体 や企業等と穏やかなネットワークを構築し、情報の共有を行うとともに、事業の協力を行いながら、自立した市民社会を構築することを目指し始まりました。

（1）今年度は、以下の NPO 法人及び団体とネットワークを構築し、活動サポートや交流を行いました。

- NPO 法人サンネット青森
- NPO 法人青森県環境パートナーシップセンター
- 地域センターあおもり
- 合同会社 tecoLLC
- NPO 法人弘前こどもコミュニティ・ぴーぷる
- NPO 法人 IT 事業センターはちのへ
- NPO 法人アートコアあおもり
- NPO 法人アート NPO リンク
- NPO 法人ふうあの会
- NPO 法人ごしょがわら恵鈴会
- ＮＰＯ法人農楽郷ここ・カラダ
- NPO 法人レスパイトハウス WA
- NPO 法人アニマルサポート青森
- NPO 法人あおもり男女共同参画をすすめる会
- NPO 法人ドアドアらうんど・青森
- NPO 法人十和田 NPO 子どもセンター・ハピたの
- NPO 法人斗南どんどこ健康村
- NPO 法人むつ下北子育て支援ネットワークひろば
- NPO 法人夢
- NPO 法人あおもりラジオくらぶ
- NPO 法人つがる野自然学校
- NPO 法人青森レクリエーション協会
- NPO 法人音楽ネット青森
- プランニングネットワーク東北
- NPO 法人 NPO サポートセンター
- NPO 法人日本 NPO センター
- NPO 法人杜の伝言板ゆるる
- NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター
- NPO 法人あきたパートナーシップ
- NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会
- 社会福祉法人大阪ボランティア協会
- NPO 法人会計基準協議会
- 青森銀行
- みちのく銀行
- LLC インセクツ
- 十和田市現代美術館
- 青森市文化観光振興公社
- A-paradise 実行委員会
- 市民活動団体『SHIT』
- 社会福祉法人　青森県共同募金会
- 青森県総合社会教育センター
- 青森学生団体 ASC
- 社会福祉法人幸成会 幸成児童館
- 青森県社会福祉協議会
- NPO 法人横町十文字まちそだて会
- NPO 法人 SEEDS NETWORK
- 日本政策金融公庫
- 21 あおもり産業総合支援センター
- 自立生活センター Ping あおもり
- NPO 法人きょうと NPO センター
- NPO 法人テダス
- 一般社団法人あおつなプロジェクト
- 一般社団法人一関平泉イン・アウトバンド推進協議会
- 一般財団法人非営利組織評価センター
- 平内町教育委員会
- 一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク
- NPO 法人コミュサーあおもり
- NPO 法人あおばの会
- NPO 法人グリーンシティ
- NPO 法人笑楽生
- 学校法人　青森田中学園
- 公益財団法人 地域創造基金さなぶり
- NPO 法人まぢラボ
- NPO 法人ワーカーズコープ
- 株式会社池田介護研究所
- NPO 法人青森なんぶの達者村
- 特定非営利活動法人びーた
- NPO 法人なんぶねっと
- NPO 法人ぷらっと下北
- 一般社団法人全国コミュニティ財団協会
- NPO 法人 hrappa
- 一般社団法人みちのく復興・みちのく復興・地域デザインセンター
- NPO 法人きらりよしじまネットワーク

2 行政との協働

平内町小学生職業体験事業企画運営業務

行政からの事業受託を通じて、行政との協働を進めました。

相手先	事　業　名	内　容	備　考
平内町	平内町小学生職業体験事業企画運営業務	平内町管内の小学生児童が、職業体験で仕事を体験し、その対価として受け取る給料で、消費体験（買物やワークショップ）での消費体験を行うことで、職業観、勤労観を養うことを目的とした事業を受託しました。新型コロナ感染予防対策を徹底し、定員を例年の 80% とするなどの対策を講じた上で開催しました。 当日の参加者 87 名、一般来場者を含む全体の来場者数は約 260 名でした。	委託事業：平内町教育委員会

3 企業との協働

（1）(株) 日専連ホールディングスとの協働による、「NPO 応援団カード」(クレジットカードでの買い物の額の一定割合を、指定した NPO に寄付できる) の普及に努めました。
登録 NPO 44 団体 ANPOS への寄付金 13,484 円

（2）日本政策金融公庫、21 あおもり産業創業支援センター、当法人で取り組む「あおもりソーシャルビジネス支援ネットワーク」は、10 月 27 日に「ソーシャルビジネス相談会」を開催しました。当法人には、南部菱刺し「つづれや」を主宰する山田友子さんより NPO 法人化について相談申し込みがあり、柳沢事務局長が対面で実施しました。

（3）明治ホールディングス株式会社が行う、障害のある子どもを対象とした活動、被災地域の子どもを対象とした活動を行なっている団体へのお菓子寄贈について、日本 NPO センターからの依頼を受け、寄贈先のコーディネートを行いました。NPO 法人レスパイトハウス WA、NPO 法人夢、NPO 法人笑楽生の 3 団体に寄贈しました。12 月に各団体へお菓子が届き、クリスマスプレゼントのようだと大変喜ばれました。

レスパイトハウス WA へお菓子の贈呈式

4

その他

4－1　普及啓発

NPO 法人会計基準及び認定 NPO 法人制度の普及に努めました。

4－2　情報収集および発信

全国の NPO 法人等との連絡会議に出席するとともに、それらの情報をホームページで発信しました。
ホームページや SNS を活用した情報発信に努めました。

4－3　NPO、一般社団法人設立・運営

NPO、一般社団･財団法人の設立相談･運営相談を行いました。 ミッションとゴールの確定、事業計画の作成、定款その他提出書類の作成、登記作業、事業運営などを支援しました。

法人設立・運営支援

- 「一般社団法人ひらないまちなかオフィス」の設立支援をしました。
- 「JICA 青森デスク」に助成金について情報提供をしました。
- 「特別養護老人ホーム三恩園」にクラウドファンディングについて助言しました。

団体及び個人	1 ケ月平均	5 件以上
電話相談問い合わせ	1 ケ月平均	30 件以上
郵便・FAX・DM	1 ケ月平均	100 件
メール	1 ケ月平均	1000 件以上

青森プロボノチャレンジ ONLINE 成果品

ANPOS パンフレット

SDGs 視点で「誰ひとり取り残さない」防災・減災を考えるワークショップ

青森県内の頑張る NPO 紹介プロジェクト

4－4　調査研究・政策提言

- NPO 法人会計基準協議会に参加し、会計基準の普及に努めました。
- 全国の NPO 団体と NPO 法改正についての議論を深めました。

4－5　労働保険事業組合事業

労働保険事業組合としての業務を行うとともに、NPO 法人、地域中小企業の労働保険への加入を働きかけをしました。

4－6　その他の自主事業

事　業　名	内　容	備　考
青森プロボノチャレンジ ONLINE	青森プロボノチャレンジ ONLINE に登録し、青森プロボノチャレンジ 2021 年にプロボノワーカーに作成していただいた法人パンフレットの内容を更新してもらいました。	青森県環境生活部県民生活文化課
廃校活用プロジェクト運営	・5 月 21 日、22 日に、NPO 法人北東北捜索犬チームが、災害救助犬・警察犬の訓練を校庭で実施しました。	
SDGs 視点で「誰ひとり取り残さない」防災・減災を考えるワークショップ	NPO 法人まぢラボ代表の石本貴之氏を招聘し、コラーニングスペース HLS 弘前と八戸ポータルミュージアムはっちにおいて、市民参加型のワークショップを開催しました。新型コロナウィルス感染予防対策を徹底し、定員を例年の 80％とするなどの対策を講じた上で実施しました。参加者：34 名	JT SDGs 貢献プロジェクト助成事業
青森県内の頑張る NPO 紹介プロジェクト	NPO 法人あおもりラジオくらぶと協働で県内の NPO 法人を取材し、当法人とあおもりラジオくらぶのホームページで紹介する事業を実施しました。	

あおもり NPO サポートセンターの活動がメディアに取り上げられました。

(23) 第47144号 (第三種郵便物認可)

東奥日報

2022年（令和4年）9月17日 土曜日

違う立場で防災考える

妊婦が避難所で困ることは？ 受験生は？

市民ら15人参加

弘前

NPO法人の設立支援や地域の課題解決に取り組む団体「あおもりNPOサポートセンター」（青森市）は10日、弘前市土手町のコラーニングスペースHLS弘前で「誰ひとり取り残さない防災・減災」をテーマにしたワークショップを行った。市民ら約15人が参加し、さまざまな立場に立って、災害時にどんなことで困るかを想像して話し合い、現状やどのような変化が必要か考えた。

ワークショップは昨年から県内各所で開き、同市での開催は初めて。講師は、市民活動の支援などに取り組む新潟県のNPO法人「まちラボ」代表理事の石本貴之さん（38）が務めた。

この日は、先月同市で大雨被害があったことから、大規模な水害が発生した場合を想定して準備し、自分や家族の状況のほか、自分とは異なる立場の人の状況を考えた。

「受験生」「自営業」「妊婦」などの立場に立った参加者は、「勉強道具が手に入らない」「帳簿やお客さんのデータが消える」「つわりでさっぱりしたものしか食べられず避難所での食事に困る」

「受験生」「自営業」「乳幼児」などさまざまな立場に立って、災害時に困ることを想像し話し合う参加者

陸奥新報

2022年（令和4年）9月20日 (火曜日) (16)

SDGs視点の防災を

大規模水害想定 WSで意見交換

弘前

SDGs（持続可能な開発目標）の観点から防災と減災を考えるワークショップが10日、弘前市のコラーニングスペースHLS弘前で開かれた。NPO法人まちラボ（新潟市）代表理事の石本貴之さんを講師に、参加者が「災害時に誰一人取り残さない」をテーマにした緊急時の行動や日ごろの取り組みについて意見を交わした。

青森市の認定NPO法人あおもりNPOサポートセンター（斉藤雅美理事長）が主催し、17人が参加。近年多発する自然災害に対し、石本さんはSDGsの観点から「年配者や女性、障害者など災害の影響を受けやすい人が、社会とつながり合っていることが重要」とし、「予測・予防・対応を兼ねた持続可能なまちづくり」である災害レジリエンス（柔軟

一人取り残さな

八戸市市民活動サポートセンター「ふれあいセンター＜わいぐ＞」情報誌 2022.6月号 No.77

WAIGU

～もくじ～
●開設20周年記念祝辞……1
●開設20周年記念・お祝いメッセージ…2～3
●ごあいさつ……3
●わいぐ情報クリップ……5
●スタッフおすすめわいぐライブラリー……3
●助成金情報……4
●編集後記……4

市民活動サポートセンター開設20周年記念に寄せて

社会福祉法人八戸市社会福祉協議会
会長 田口 豊實さん

市民活動サポートセンターが開設され、20 周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

当協議会では、2002 年 6 月に八戸市から市民活動サポートセンターを受託し、2006 年からは指定管理者として 2019 年度までの 17 年余運営に携わらせていただきました。その間、多くの市民活動団体の皆様と出会い、運営を支えていただきましたことを、この場をお借りして御礼申し上げます。

ご承知のとおり、1995 年の阪神淡路大震災では、震災直後の 1 年間で 138 万人のボランティアが活動し、被災者を支援するボランティア団体が多く生まれ、「ボランティア元年」と呼ばれています。震災後、様々な分野で非営利団体による社会貢献活動が活発になり、1998 年に NPO 法が誕生するきっかけとなりました。そのような時代の流れの中で誕生した「ふれあいセンターわいぐ」は、八戸市の市民活動の拠点として定着し、まちづくりの原動力となってきました。

現在、指定管理者として市民活動団体である、企画集団 With you 様が管理運営されており、市民活動団体の主体性を活かした運営形態となったことは、まさに、市民と行政との協働の望ましい姿だと考えております。

当協議会では、市民活動サポートセンターと連携しながら、引き続きボランティア活動の普及啓発と、大規模災害時のボランティア支援体制の充実に取り組んで参ります。

今後とも、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げるとともに、貴施設の益々のご発展を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 開設20周年記念

わいぐと市民活動の20年を祝して

認定特定非営利活動法人あおもりNPOサポートセンター
理事長 斉藤 雅美さん

平成 14 年にオープンした「八戸市市民活動サポートセンター（ふれあいセンターわいぐ）」が開設 20 周年を迎えられたとのこと、心よりお祝い申し上げます。

八戸市では「市民と行政の協働によるまちづくり」を官民連携で実践されており、『わいぐ』はその重要な核として、また八戸圏域の市民活動を支える拠点として、様々な成果を生み出してこられました。登録団体の一つである当法人としても、設置の八戸市様、長く管理者であった八戸市社会福祉協議会様、そして現在の管理者である企画集団 With you 様に深く御礼を申し上げたい気持ちです。

この 20 年を振り返ると、団塊世代の退職後の地域参加、コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの進展や少子高齢化の進行、何よりも被災地となった東日本大震災からの復旧・復興など、市民活動を取り巻く状況は大きく変化してきました。しかしながら、社会における市民活動の重要性は、より一層高まっていると実感いたします。

本年 5 月現在、全国で認証されたNPO法人は約 50,700、青森県内は 405、八戸市内は 57 と公表されています。市民活動には、様々な組織形態があり、法人の数は目安に過ぎませんが、民間の中間支援組織として、NPO・市民活動を支援する当法人としても、『わいぐ』や登録団体の皆様と協力して、八戸圏域で市民活動が更に活発化するよう努めて参ります。

今後も地域の元気を支えつづけていただくとともに、『わいぐ』のさらなるご発展とご活躍を心からお祈りしています。

1 WAIGU

2023年（令和5年）3月14日 火曜日 (18)

東奥日報

【青森】SOMPO福祉財団がNPOに70万円寄付　SOMPO福祉財団（西澤敬二理事長）は7日、青森市の認定NPO法人「あおもりNPOサポートセンター」（斉藤雅美理事長）に組織や事業活動の強化資金助成金として

社会福祉 業 贈呈式

て70万円を贈った＝写真。

助成は、地域問題の解決に大きく貢献することなどを基準に選定。本年度は東日本地区を対象に83件の応募があり、防災・減災を考えるワークショップ事業に取り組む同センターなど15団体が選ばれた。

同市のアピオあおもりで行った贈呈式で、損保ジャパン青森支店の中川勝支店長が「地域の社会福祉の発展にますます貢献されることを期待する」とあいさつし、斉藤理事長に贈呈書を手渡した。斉藤理事長は「助成を励みにワークショップなど事業の価値を高め、組織の基盤を強化して長く続けていきたい」と話した。（下舘悠々）

４－７　交流（含む講座・セミナーの企画運営、プログラムの提供、講師派遣）

「あおもり NPO プラットフォーム」の活動をとおし、他の団体との交流を図るとともに、県内外を問わず、他団体及び企業との情報の交換を進めました。

以下の事業、プロジェクト、フォーラム、セミナー、委員会等に参画しました。

- 社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク
- 全国 NPO 法人 CEO 会議
- 会計基準協議会
- SAVE JAPAN プロジェクト
- 市民ファンド推進連絡会
- 浅虫地域興しの為の某物販店再生事業アドバイザー
- 公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金理事
- あおもりデザイン協会 事務局長
- NPO 法人 harappa 副理事長
- 百石町展示館 館長
- 青森県在来作物研究会代表
- 「ジュニア・グローバル・トレーニング・スクール　高校生・留学生プログラム」異文化理解と SDGs を学ぶ」講義とワークショップ
- 浅虫地域興しの為の某物販店再生事業アドバイザー
- 青森県移送サービスネットワーク 代表
- NPO 法人サンネット青森 理事
- 中泊町生涯現役いきいき活躍プロジェクト協議会　移送サービス設立支援活動
- 青森県シルバー人材センター連合会　介護送迎運転者講習
- 外ヶ浜町社会福祉協議会　交通空白地有償運送設立相談
- 東北町社会福祉協議会　福祉有償運送コーディネート
- NPO 法人青森県環境パートナーシップセンター　理事、事務局長
- コープあおもり　理事
- 青森県環境保全型農業直接支払制度第三者委員会　委員
- むつわんの絵コンクール 2021　事務局
- 青森市清掃工場環境報告書　事業状況へのコメント執筆
- 八戸市市民活動サポートセンター　運営委員
- 東北経済産業局　まちづくりコーディネーター
- 八戸中心商店街発信サイト「はちまち」 アドバイザー
- 八戸地域社会研究会 （会員）
- まちなかミュージアム WS （会員）
- あおもりピンクリボンプロジェクト
- 青森市医師会 広報委員会　副委員長
- 青森＆八戸ピンクリボンプロジェクト～あなたのこと守りたい　FM 青森出演
- 青森＆八戸ピンクリボンプロジェクト～あなたのこと守りたい　FM 青森出演
- ひらないジョブタウン講師：お医者さんの仕事
- 青森市立浪岡北小学校　教育振興会会長
- 青森市浪岡消防団 9 分団　部長
- NPO 法人サンネット青森運営協力委員
- JAF 青森支部交通安全実行委員
- 青森県赤い羽根共同募金会　評議員
- 青森県人づくり戦略会議
- あおもり移住・交流推進協議会
- 女性の学び直しを通じたキャリア形成支援事業青森県学び直し推進会議
- SOMPO 福祉財団 NPO 基盤強化資金助成金交付式
- 青森大学社会学部社会学科　非常勤講師
- 北東北 3 県（青森・岩手・秋田）避難者支援情報交換会
- 東北六県 ROLL フォーラム登壇
- 北海道・東北ブロック 広域避難者支援団体間情報交換会・合同視察会
- 公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金　選考委員
- 一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター　理事
- 青森県立高等学校魅力づくり検討会議東青地区部会委員
- 青森県型地域共生社会の実現に向けて　孤独・孤立問題の勉強会
- 地方版孤独・孤立政策官民連携プラットフォーム推進事業　プラットフォーム設立準備会

4－8　総務・労務関係

（1）2022 年 4 月 30 日現在の会員数は以下の通りです。会員のプライバシーを守るために、名簿の管理を厳重に行いました。
　正会員…19 人、準会員…4 人
（2）定例総会を開催しました（6/11）
（3）理事会を開催しました（6/11、9/10）
（4）社労士に労働保険等の業務を外注し、事務作業の軽減化を図りました。

4－9　会計関係

（1）会計処理を容易かつ迅速に行うため、ネット帳簿「N-books」を使用しています。
（2）経理の透明性を図り円滑に事業を行うために、事業別に処理を行いました。また税理士による監査を行い、一層の透明化に努めました。

4－10 社会的責任（SR）への取組

（1）社会的責任への取り組みとして以下のことに取り組みました。
1，組織統治
　コンプライアンス規程の明文化等 ---------- 規定を遵守しました
2，人権
　労働における基本的原則・権利等 ---------- 遵守いたしました
3，環境
　持続可能な資源の使用等 ---------- 節電等に努めました
4，公正な事業慣行
　SR 調達、知的所有権の尊重等
5，消費者課題
　根拠の開示、使途の開示等
6，コミュニティ参画・開発
　雇用創出・健康・社会的責任等

（2）ホームページに個人情報保護方針を掲載しています。
（3）非営利組織評価センター（JCNE）が提供する第三者組織評価を受け、「全ての基準を満たしています。」との評価をいただいています。

4－1 1 当法人にご寄付くださったみなさま

2022 年度、当法人へご寄付くださったみなさまです。心から感謝いたします。ありがとうございました。（受領日順）

- 大橋　拓也　様
- 渡邊　茂　様
- 斉藤　雅美　様